

平成 30 年度 第 12 回 理事会議事録

日 時：平成 31 年 3 月 13 日（水） 19：00～

場 所：ファミリークリニックきたなかぐすく 通所リハビリ室（1F）
（沖縄県北中城村字喜舎場 360 番地 1）

[出席者]

理 事：池城正浩、小嶺衛、立津統、城間定治、運天智子、久高将臣、金城良和、山城忍、川畑真紀、
照屋一樹、末吉恒一郎、村井直人、南部路治、当真祐二

監 事：仲西孝之

書 記：上間聖子

欠席者：神谷喜一

定刻に司会者池城正浩は開会を宣し、本日の理事会は出席者が定款第 36 条のとおり定数を満たしていたので有効に成立した旨を告げた。

議決に加わることの出来る理事数 15 名

出席者理事数 14 名

次いで定款第 35 条により、池城正浩が議長となり、直ちに議案の審議に入った。

[審議事項]

- ・第 1 号議案 入会の承認に関する件…【資料ファイル 1】
- ・第 2 号議案 2019 年度収支予算書について…【資料 1】
- ・第 3 号議案 平成 31 年度沖縄県地域ケアマネジメント基盤強化促進事業受託について
- ・第 4 号議案 平成 31 年度沖縄県多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業受託について
- ・第 5 号議案 日本糖尿病理学療法学会 糖尿病対策推進担当選出について…【資料 2】
- ・第 6 号議案 平成 31 年度第 10 回訪問リハ・地域リーダーへの派遣について…【資料 3】
- ・第 7 号議案 第 40 回九州 PT・OT 合同学会沖縄記念大会優秀演題賞の選出について
- ・第 8 号議案 表彰審査委員会優秀賞選定部会解散について

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

- ・H31.2/1～2/28 までの受付・発行文書 …【収受・発行文書(原本)ファイル】
- ・H31.2/1～2/28 までの会員異動詳細 …【資料ファイル 2】
- ・事務員の給与明細 …【資料ファイル 3】

4. 社会職能局

※月次活動報告

5. 教育学術局

※月次活動報告

6. 各種委員会

第1号議案

入会の承認に関する件

提出日：平成 31 年 3 月 13 日		提出者：上間聖子	
担当局：事務局		担当部：総務部	
議案主題		入会の承認に関する件 【資料ファイル1】	
議案内容 及び 提出理由		【入会申請者】計1件 承認：0件、 否認：1件 【会員動向】平成31年2月28日現在 ※連絡不能者含む ・在会会員数：1,517名、施設所属会員数：1,364名、自宅会員数153名 ・休会：188名 ・会員所属施設数：267施設 【期間会員動向】平成31年2月1日～平成31年2月28日 ※当協会入力状況から検索 異動：26名（県内：22名 転入：2名 転出：2名） （うち再申請：2名 否認2名） 休会：61名※休会継続含む 退会：5名 復会：7名	
審議内容		① 入会の可否について 城間事務局長）1名の申請がありました。未納退会の履歴があり、本人確認において一旦取り下げたいとの申し出あり。否認したいと考えます。審議お願いします。 特に異議なし	
審議結果		・全会一致で承認された	
		担当局：事務局	担当部：総務部
備考			

第2号議案

2019年度収支予算書について

提出日：平成31年3月6日		提出者：池城正浩	
担当局：事務局		担当部：財務部	

議案主題	2019 年度収支予算書【資料 1】	
議案内容 及び 提出理由	2019 年度予算案を 2 月 10 に開催された予算編成委員会の審議内容を踏まえて策定した。 ご審議頂きたい。	
審議内容	2019 年度予算案の承認について 城間事務局長) 2019 年度予算案の内容について説明。公益社団法人である為、事業の 7 割は公益事業として行うものである。今年度は南九州インターハイ、第 20 回沖縄県学術大会及び記念式典が予定されており、大きなイベントが複数ある。皆様のご協力をお願いしたい。その為、予算計画書は早期に提出していただき事業の見える化を図り、定時総会において会員へ十分説明をしていただきたい。 運天理事) 当協会は会費収入と補助金で運営されている団体である。2019 年度は前年度の会員動向を勘案し、10%の収入減として予算化している。各局におかれましては一層のコスト管理に努めていただきたい。 照屋理事) 沖縄県リハビリテーション専門職協会（以後リ専協）より会費 300 円/人（会員数）の維持を依頼されている。 城間事務局長) 地域包括ケアの人材育成導入研修会の研修をリ専協で行うのであれば、この金額でも可能と考えるが、研修会は問題ないか。 久高理事) 研修会の内容が今年度より JPTA より基準を示されており、各団体で今後調整が必要。検討する。 山城理事) スポーツ事業部としては、南九州インターハイへの派遣事業と現行の事業の調整を牧門部長と検討し、予算内で事業ごとの配分を変更する案で実行したい。 城間事務局長) 研修での参加費、補助金等を財源として事業に組み入れていくことも検討できる。 末吉局長) 学術局研修会の資料等は原則モノクロ印刷で行い、支出の減額に努めるつもりであるが、講師の希望等がある場合は難しい。 運天理事) カラー印刷をされる際には、資料代の増額をする等で支出の抑制を行ってみてはいかがか。 村井理事) 学会誌や学術誌の減額は今後検討している。印刷を廃止して HP 上で PDF での配信等はいかがか。HP 掲載にかかる経費と印刷にかかる経費では HP 掲載の方が減額の可能性があると考えます。	
審議結果	2019 年度予算案について ・全会一致で承認された	
	担当局：事務局	担当部：財務部
備考		

第 3 号議案 平成 31 年度沖縄県地域ケアマネジメント基盤強化促進事業受託について

提出日：平成 31 年 3 月 13 日		提出者：池城正浩・城間定治	
担当局：会長・事務局		担当部：総務部	
議案主題	平成 31 年度沖縄県地域ケアマネジメント基盤強化促進事業受託について		
議案内容 及び 提出理由	平成 31 年度、沖縄県の介護予防市町村支援事業における「地域ケアマネジメント基盤強化促進事業」について下記のとおり受託予定である。受託について審議いただきたい。 本事業は地域の多様な専門職等と市町村及び地域包括支援センターが連携していくための共生社会を見据えた（基礎・実践）研修等の企画・運営が目的である。 この事業を通して市町村の取り組みを把握し、連携していく体制を構築することで、市町村事業に対する理学療法の提供などが期待される。定款第 4 条第 5 項内外の関連団体との連絡及び協力に関する事業に基づく。 【委託元】沖縄県子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課 介護企画班 【契約期間】2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日（調整中） 【予算規模】約 400 万円 【研修概要】（案） 研修回数：3 回（5 月・8 月・12 月） 土曜日開催		
審議内容	検討 1：受託の可否 検討 2：担当者の決定 城間事務局長）事業の内容と目的について説明。担当者については、事務局担当理事で振り分けとし、総務部を中心に行う。但し、事業が大きいので総務部だけでは対応が難しい際には各局へ協力を依頼したい。 特に異議なし		
審議結果	①受託の可否 ・全会一致で承認された ②担当者の決定 ・事務局案全会一致で承認された		
	担当局：事務局	担当部：総務部	
備 考			

第 4 号議案 平成 31 年度沖縄県多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業受託について

提出日：平成 31 年 3 月 13 日		提出者：池城正浩・城間定治	
担当局：会長・事務局		担当部：総務部	
議案主題	平成 31 年度沖縄県多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業受託について		
議案内容 及び 提出理由	平成 31 年度、沖縄県の介護予防市町村支援事業における「多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業」について下記のとおり受託予定である。受託について審議いただきたい。 本事業は地域包括ケアシステムを構成する多様な専門職が、互いの専門職の垣根を越えた連携促進を図るため、特定テーマ別の研修等の企画・運営が目的である。 この事業を通して専門職間の連携していく体制を構築及び強化することで、市町村事業に対する理学療法提供などが期待される。定款第 4 条第 5 項内外の関連団体との連絡及び協力に関する事業に基づく。 【委託元】 沖縄県子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課 介護企画班 【契約期間】 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日（調整中） 【予算規模】 約 450 万円 【研修概要】（案） 研修回数：5 回（日程調整中、内 2 回は離島開催） 土曜日開催 【特記】 研修テーマ及び講師によっては再委託契約による実施となる。		
審議内容	検討 1：受託の可否 検討 2：担当者の決定 城間事務局長）事業の内容と目的について説明。 2019 年度も県アドバイザー事業が含まれており、コンソーシアム研修は松川講師と再契約を結ぶ予定である。その際は改めて理事会へ議案提出をする。また、看護協会との連携と協力依頼の為、来週訪問予定で会場も借用を予定している。 担当者については、事務局担当理事で振り分けとし、総務部を中心に行う。但し、事業が大きいので総務部だけでは対応が難しい際には各局へ協力を依頼したい。 特に異議なし		
審議結果	①受託の可否 ・全会一致で承認された ②担当者の決定 ・事務局案全会一致で承認された		
	担当局：事務局	担当部：総務部	
備考			

提出日：平成31年3月13日	提出者：末吉恒一郎 村井直人 南部路治 当真祐二
担当局：教育学術局	担当部：生涯学習支援部
議題主題	日本糖尿病理学療法学会 糖尿病対策推進担当選出について【資料2】
議案内容及び提出理由	本件は、日本理学療法士協会が日本糖尿病対策推進会議の構成団体であることを踏まえ、各地域で行われている糖尿病対策事業に理学療法士が積極的かつ継続的に関わることができる体制を整えることを目的としている。今回、日本糖尿病理学療法学会より、各都道府県士会より1名の担当者選出の依頼があった。そこで、教育学術局を中心に、当士会会員で候補者を選出したので、ご審議いただきたい。 〈選出条件〉 日本糖尿病理学療法学会員、日本糖尿病療養指導士あるいは地域糖尿病療養指導士の資格を有していることが望ましい。 〈活動内容等〉 別紙参照 第1候補：中頭病院 大山 将平 会員 日本糖尿病療養指導士、フットケア領域や糖尿病関連の学会発表・参加経験多数。 第2候補：ハートライフクリニック 長嶺 敦司 会員 糖尿病関連の学会発表・参加経験多数。 第3候補：大浜第一病院 久場 美鈴 会員 日本糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会代謝認定理学療法士、糖尿病関連の学会発表・参加経験多数。
3 審議内容	糖尿病対策推進担当者の可否について 末吉局長）依頼内容と3人の候補者について説明。1か月前に学会より案内があり、打ち合わせ会議が県外で予定されている。次年度沖縄県で会議が予定されており、神経学会と共同で9月14日にコンベンションセンターで開催される予定である。 候補者の順位について、根拠は薄い。 池城会長）第2候補の長嶺氏は日本糖尿病療養指導士の資格を持ち、沖縄県指導士会の役員も務めている。 城間事務局長）日本糖尿病理学療法学会は、当協会に対して共催依頼を多く行っている団体で、その都度方向所もきちんと提出されている信頼できる団体である。その際に提出されている参加者名簿を推薦の参考にしてはいかかがか。 小嶺副会長）長嶺氏は健康運動指導士の資格も持っている。 村井理事）第1候補の大山氏は足病変の認定資格を持っていて、装具の分野でも活躍している。
審議結果	糖尿病対策推進担当者の可否について 担当者は、第2候補者の長嶺 敦司氏を第1推薦候補として本人へ打診。確認する。長嶺氏が辞退する際は第1候補者の大山氏、次いで第3候補者の久場氏へ打診する。 決定後学会へ担当者を回答する。 ・全会一致で承認された

	担当局：教育学術局	担当部：生涯学習支援部
備 考	資料 2 糖尿病対策事業担当者選出のお願い 参照	

第 6 号議案

平成 31 年度第 10 回訪問リハ・地域リーダーへの派遣について

提出日：平成 31 年 3 月 13 日	提出者：金城 良和
担当局：社会職能局	担当部：居宅支援事業部
議案主題	平成 31 年度第 10 回訪問リハ・地域リーダーへの派遣について 【資料 3】
議案内容 及び 提出理由	平成 31 年度第 10 回訪問リハ・地域リーダーへの派遣について派遣の可否及び派遣者をご審議頂きたい。 次年度初の試みとして『訪問リハビリテーションフォーラム』を関連職種公開フォーラムの形で、地域リーダー会議 2 日目の午後に開催。 ■ 申込受付期間 平成 31 年 3 月 1 日（金）～3 月 15 日（金） ■ 会場 4 月 27 日（土）：AP 西新宿（東京都新宿区西新宿 7 丁目 2-4） 4 月 28 日（日）：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル貸ホール （東京都渋谷区代々木 3 丁目 25-3） ■ 参加費 1,000 円（関連職種公開講座：訪問リハビリテーションフォーラム 2019 参加費として） ※懇親会費（希望者） 4,500 円 ※昼食手配（希望者） 各日 1,000 円 本会議に関わる交通・宿泊費・参加費等については、各都道府県士会で負担。
審議内容	①派遣の可否について ②派遣者： 金城局長）毎年 1 名派遣を行っている。昨年はセンター病院の富山郁美氏を派遣している。次々年度当協会が訪問リハビリテーション研修会の担当となる為、再度富山氏を派遣者になりたい。 池城会長）派遣者はその後どの様に活用されているのかが判りづらい。また、それがどの様に会員へ還元されているのか。 金城局長）例年研修会后、理事会報告はなされている。 照屋理事）訪問リハ研修会の中で報告等をしているが、経緯が見えにくい。 城間事務局長）歴代のリーダーはどうしているのか。 金城局長）歴代のリーダーは、訪問事業部の部員となっているが、広く県士会の会員へどうフィードバックしているのかが見えづらい。 照屋理事）研修会参加者は、その後自分の県で研修会（PT・OT・ST 合同）の担当者として活動することが要件となっており研修会の部員として活動しているが、県士会会員へどのように還元できているかは見えづらい。 城間事務局長）現在の訪問リハ研修会は、実際に活動しているセラピストへ向けた専門的

	な研修会の内容のように見受けられる。ならば、県士会活動としてベーシックな研修会を行っていく必要があるのではないか。 照屋理事) 県士会事業として今後行っていく。(派遣者、歴代のリーダーも一緒に) 村井理事) 2019 年の予算案には含まれていないのか。 照屋理事) 含まれていない。 城間事務局長) 例年行っている事業であり必要があるとのことなので事業を承認しては。しかし、理事会の提案として士会活動へ繋げて行って欲しい。	
審議結果	①派遣の可否について 2019 年度も派遣可とする。 ②派遣者：富山郁美氏（沖縄リハビリテーションセンター病院 ・全会一致で承認された	
	担当局：	担当部：
備考		

第 7 号議案 第 40 回九州 P T ・ O T 合同学会沖縄記念大会優秀演題賞の選出について

提出日：平成 31 年 3 月 13 日		提出者：小嶺衛
担当局：表彰審査委員会		担当部：優秀賞選定部
議案主題	第 40 回九州 P T ・ O T 合同学会沖縄記念大会優秀演題賞の選出について	
議案内容及び提出理由	第 40 回九州 P T ・ O T 合同学会沖縄記念大会へエントリーした当会会員出題演題のなかで特に優秀と認められた者に対し、沖縄記念大会特別優秀賞として表彰する。	
審議内容	可否についてご審議いただきたい。 池城会長) 合同学会では一度優秀賞で表彰が行われているので、再度選定するのはいかがか。 小嶺委員長) 優秀賞選定は、例年全国 PT 学術大会、九州 PT ・ OT 合同学会、県学術大会の 3 学会から演台を抽出してきていたが、全国学術大会が分科学会化したことで発表者の演題抽出が困難になったこと、来年度より県学術大会が独自に表彰することになったことなどから九州合同学会のみを選定対象者学会として選出を行いたい。 村井理事) 分科学会からの県会員発表者検索は、非常に手間はかかるが方法が無いわけではない。その方法を取られては。 小嶺委員長) 今年度は時間的に間に合わないと考える。 仲西監事) 第 40 回大会が最後の合同学会で、沖縄開催であったことは特別視するが、優秀賞をこの学会の応募者だけに絞って選出することに違和感がある。 池城会長) 以前の表彰者の基準と今回の基準が変わるのはいかがか。 小嶺委員長) 皆さんの指摘のあった点は、委員会でも検討課題になっていた。	

審議結果	可否について 第40回九州PT・OT合同学会沖縄記念大会優秀演題賞の選出については、行わないこととする。	
	・全会一致で承認された	
	担当局：表彰審査委員会	担当部：優秀賞選定部
備考		

第8号議案

表彰審査委員会優秀賞選定部会解散について

提出日：平成 31年 3月 13日		提出者：小嶺衛
担当局：表彰審査委員会		担当部：優秀賞選定部
議案主題	表彰審査委員会優秀賞選定部会解散について	
議案内容及び提出理由	これまで優秀賞は主に全国PT 学術大会、九州PT・OT 合同学会、県学術大会の3学会から演題を抽出し指定の査読員に審査していただき、優秀と認められた発表者を表彰してきた。しかし、以下の事由により優秀賞選出および表彰のコンセプトが不明となった。 ①全国学術大会が分化学会化したことにより当会会員発表者の演題抽出が困難になった。 ②来年度より県学術大会実行委員会が独自に優秀演題を優秀賞として表彰することになった。 ③①および②の事由により抽出対象が九州学会のみになってしまった。 ＜優秀賞選定部会の今後について＞ 優秀賞選定・表彰のコンセプトがなくなったので部会の事業は終了し解散する。	
審議内容	表彰審査委員会優秀賞選定部会解散について承認をいただきたい。 仲西監事）過去、当協会会員の学術・研究活動が乏しかったころ、部会がこの賞を通して活性化に寄与したことについては感謝している。 小嶺委員長）学会の形式の変化や同学会への重複評価の問題点も以前より話合われてきたため、優秀賞選定部会の役割は一応終えたと判断している。	
審議結果	表彰審査委員会優秀賞選定部会解散について	
	・全会一致で承認された	
	担当局：表彰審査委員会	担当部：優秀賞選定部
備考		

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会 長 池城 正浩

監 事 仲西 孝之